

第5学年 「総合的な学習の時間」 学習指導案

2021年7月2日（金）5校時

指導者 春岡 和子

1. 単元名 ふるさと香々地の名物をPRしよう
2. 単元目標 自分たちの住む地域や産業を知り、産物のよさを伝える方法を考える活動を通して、地域の産業や活性化に携わる人々の思いや願いに気づくとともに、地域のために自分たちができる、防災の取り組みを含んだPRの方法を考えるようにする。
3. 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①香々地の名物（しいたけ・岬ガザミ・長崎鼻オイル工場）のよさと課題及びそれに携わる人々や組織の存在、思いや願いがわかる。</p> <p>②資料やインターネット、インタビュー、見学など、目的に応じた情報収集の仕方を考え、得た情報の比較・分類の方法を理解している。</p>	<p>①香々地の名物のよさや携わる人々の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しを持って追究している。</p> <p>②収集した多様な情報を、分類・整理し、香々地の名物をPRする相手、内容、方法について考えている。</p>	<p>①香々地の名物に関心をもち、そのよさや特徴をよりPRできる方法を、自分なりの工夫をしながら考えたり見つけたりしている。</p> <p>②名物のPRの仕方について、他者の考えを受け入れ尊重しながら、協働して考えている。</p> <p>③自分たちにできる香々地の名物をPRする方法を、進んで考え提案しようとしている。</p>

4. 指導の立場

(1) 児童の実態

5年生9名は何事にもまじめに取り組み、協力しながら学校生活を送ることができているが、計算間違いや文章の読み間違いなど、基礎的な力の定着が不十分と感ずることがある。授業中も、自分の考えに自信が持てないのか、発言する児童は限られている。与えられた課題には、一生懸命取り組むが、自分たちで課題を見つけ解決していく力は、弱い。調べ学習も、本やインターネットなどを使って、意欲的に取り組むが、何のために何を調べればよいのかという目的意識が薄れがちである。また、得た情報の整理・分類、分析もまだまだ難しく、そこから課題を見つけたり解決する方法を見つけたりして、探究していくまでには至っていない。

地域の産業については、しいたけのコマ打ちや岬ガザミの放流の体験をしている。また、米作りやしいたけ栽培をしている家庭やオイル工場で働いている保護者もいて、身近なものと感じている。3つの名物について知っていることを聞いたときも、とてもうれしそうに話す姿が見られた。しかし、興味関心は高くなく知識も浅いと感じる。

(2) 単元について

香々地地区は、海と山に囲まれた自然豊かな地域である。農産物や海産物も豊富で、農業、漁業が主要な産業である。近年、長崎鼻を中心に観光化にも力を入れている。しかし、農業や漁業に従事する人は、高齢化、従事者の減少などの課題を抱えている。その中で、各組織や個人が、しいたけのコマ打ち体験やガザミの放流・浜ゆで・試食体験、長崎鼻の休耕地を利用した花畑・花の種子油の製造など、さまざまな取り組みを行っている。子どもたちが改めてその取り組みや人々の願いに触れ、そのすばらしさや自慢のPRに取り組むことは、自分たちの住む地域のすばらしさに気づき、ふるさとを守り、さらに発展させていこうとする意欲につながるものと考えられる。

また、香々地校区は、海岸に近く標高が低く、竹田川による扇状地であることから、津波や土石流、川の氾濫などの危険性をはらんだ地域である。さらに、台風などの被害も考えられる。社会科や理科での学習内容もふまえて、地域の土地の様子や気候について学び、災害の様子や災害時に自分たちがしなければならないことやできることはないかを考えていくことは、災害時の意思決定や行動選択、日常的な備え、地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献することに、少しでもつながると思われる。

(3) 指導について

小単元1「地域の地形や気候、産業について知り、香々地の名物について調べよう。」では、香々地の産物や名物の中から、しいたけ・岬ガザミ・長崎鼻オイルの3つについて、グループに分かれて調べる活動をする。調べる前にマッピングにより、3つについて今知っていることを出し合わせる。その後、よくわからないこと、もっと調べてみたいことを出し合い、3人ずつのグループに分かれて、本や図鑑、パンフレット、インターネット、ガザミの放流体験でいただいた資料、おうちの人に聞くなどの方法で調べていく。

調べたことを出し合うことで、名物のPRには、実際に見たり聞いたりすることや人々の思いを知ることの必要性を感じられるので、小単元2「香々地の名物に関わっている組織について調べ、そこに携わっている人々の工夫や災害への備え、名物への思いや願いを聞こう。」につなげていく。計画を立て、実際に見学やインタビューをする中で、災害への備えや取り組みなどについても、調べていく。

さらに、小単元3では、自分たちが見つけた名物のすばらしさや自慢を、どんな方法でPRしていくかを考え、地域へと発信・提案していきたい。その際、自分たちの経験から、3つの名物のおいしさや料理にも目が向いていると思われるので、「災害時の保存食として活用できないか。」という投げかけをしたい。そして、保存食のアイデアも含めたPRを考えていくことで、少しでも防災への意識を持たせ、地域へ貢献することの大切さも感じさせていきたい。

5. 指導と評価の計画（60時間）

小単元名	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1. 地域の地形や気候、産業について知り、香々地の名物について調べよう。 (15)	・「香々地の名物」でイメージするものについて出し合う。			①	ワークシート 発表
	・香々地の名物である、岬ガザミ、しいたけ、長崎鼻オイル工場について調べる計画を立てる。		①		ワークシート 発表
	・それぞれについて、今わかっていること、疑問点や調べてみたいことを出し合う。	①		①	ワークシート 発表
	・グループに分かれ、家族に聞いたり、本、パンフレット、インターネット等で調べる。	②	①	①	ワークシート
	・香々地の土地の様子や気候との関連を調べる。	②	①		ワークシート
	・調べたことを項目ごとに整理する。		②		ワークシート
	・他のグループからの付け加えや意見をもらい、さらに調べる。			②	ワークシート 発表
	・調べたことをグループごとに「〇〇新聞」としてまとめ、発表する。		②	①	新聞 発表
2. 香々地の名物に関わっている組織について調べ、そこに携わっている人々の工夫や災害への備え、名物への思いや願いを聞こう。 (15)	・それぞれの名物について、取り組みの実際を見学したりや携わっている人々にインタビューする計画を立てる。	②	①		ワークシート 発表
	・漁業協同組合、ガザミ漁師、農業協同組合、しいたけ栽培農家、長崎鼻オイル工場、長崎鼻BTネット等の方々に、インタビューを申し込み、話を聞きに行く。	① ②		①	ワークシート 行動観察
	・それぞれの思いや願い、悩み、災害への備え、誰に向けて、何をPRしたいかをまとめる。	①	②		ワークシート 発表
	・まとめたことを全体で交流する。		②	②	ワークシート 発表

3. 香々地の名物の、保存食への利用を含めたPRの方法を考えて、地域のひとへ提案しよう。(30)	・地域のために自分たちで工夫して、保存食への利用も含めたそれぞれの名物のPRの計画を立てる。	①	②		ワークシート 発表
	・PRの方法を出し合う。 ※パンフレット、新聞、ポスター、プレゼン、CM、広告、 商品説明、レシピ開発・紹介、イベント参加……			① ②	ワークシート 発表
	・栄養士さんや食推協の方々、長崎鼻のレストランのシェフに協力を依頼し、保存食のアイデアを考え、試作してみる。			①	ワークシート 発表 行動観察
	・誰に、何を、何を使ってPRするかを話し合い、それぞれの組織の方にも意見を聞いて、グループごとにPRの準備をする。	①	②	①	ワークシート 発表 行動観察 成果物
	・他のグループからの意見も取り入れて、PR法を各組織に提案する。(できれば、実際にPRしてみる)			② ③	成果物 行動観察
	・学習の振り返りをする。				ワークシート、 発表

6. 本時案 (小単元1 13/15)

- (1) 小単元名 地域の地形や気候、産業について知り、香々地の名物について調べよう。
- (2) 題 目 香々地の名物について調べたことから、PRに必要なことを出し合おう
- (3) 主 眼 香々地の名物のPRに必要なことを、これまで調べたことを伝え合ったりよさを考えたりすることを通して、考え、これからの活動に見通しや意欲を持つことができる。

(4) 展 開

	時間	学習活動	指導及び支援	評価の観点
出 会 う	5	前時までに、岬ガザミ・しいたけ・長崎鼻オイル工場の3つのグループ(3人×3)に分かれて、調べたこと、現段階でのPRポイント等をまとめている。		
		1. 活動・学習の流れを確認し、本時のめあてを知る。	○めあてを提示し、今後の活動につながることを出し合うことを意識づける。	

		めあて：他のグループの発表を聞いて、PRに必要なことを出し合おう。		
	10	2. グループごとに調べたことを発表し合う。	<input type="radio"/> 調べたことをグループごとに発表させる。 ・現時点で一番のPRポイントがわかるようにする。 ・自分だったら何をPRしたいかを考えながら、他のグループの発表を聞くようにさせる。	A：地域の名物のよさを理解している。 B：自分なり的手段で情報を集め、関連づけながらまとめることができている。
	課題：それぞれの名物のよさをもっと伝えるには、どんなことをPRしたらいいかな。			
深める	20	3. 他のグループの発表で、わかったこと、よくわからないこと、自分がPRしたいことを考え、伝え合う。	<input type="radio"/> よくわかったこと、自分も知りたいなと思っていたこと、自分もPRしたらいいなと思っていたこと（水色）、よくわからなかったこと、自分がPRしたいと思っていること（ピンク）を付箋に書かせる。 ・PRに必要なことという視点で見つけさせる。 <input type="radio"/> 見つけたことを発表させる。 ・なぜ、それが必要なのかなどの理由やどうやってしらべたらよいかを言わせるようにする。 <input type="radio"/> 見つけたことを大まかにグルーピングしておく。	A：他のグループの発表から、他の名物のよさを理解している。 B：目的に応じて解決方法や手段を考えている。
	まとめ：PRに必要なこと ・名物や作っているところ、とれる場所などの実際の写真～香々地の名物ということを見せたいから→見学 ・それぞれの名物に携わっている人々の思いや願い、苦労、工夫～携わっている人の思いを届けたいから→インタビュー			
まとめる	5	4. 振り返りをする。	<input type="radio"/> これまでの学習から次の活動に向けて、計画を立てることを知らせる。	C：自分から進んで、協力しながら課題の解決に取り組もうとしている。
	振り返り： ・それぞれの名物のよさがわかってきたが、実際に見たり携わっている人に聞いたりしないとわからないこともあるな。			

総合的な学習の時間 ワークシート

香々5地の名物について調べたことから、PRに必要なことを見つけよう

	よくわかったこと、自分も知りたいなと思っ ていたこと、自分もPRしたらいいなと思っ ていたこと(水色)	よくわからなかったこと、自分がPRした いと思っていること(ピンク)
岬 ガ ザ ミ		
し い た け		
長 崎 鼻 オ イ ル 工 場		

《ふりかえり》